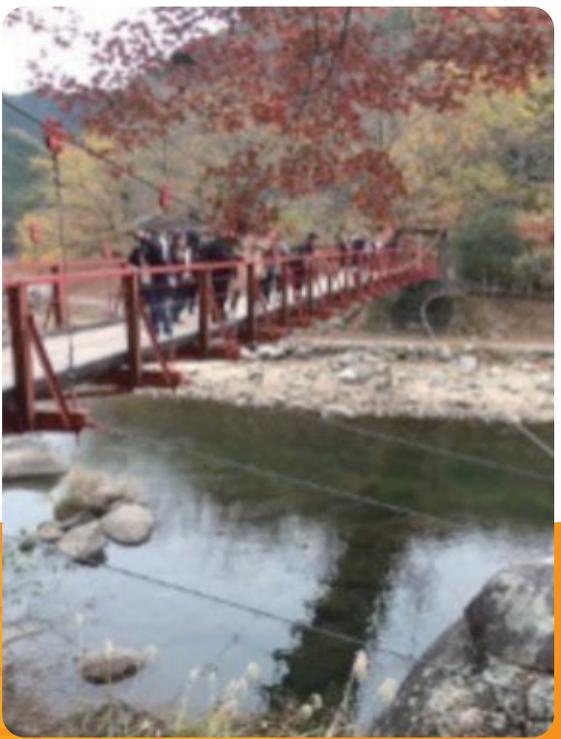


2

## K rankei

La vista desde el puente colgante, aunque se balancea mucho, es muy hermosa.



1

## El templo de familia Asuke, K jakuji

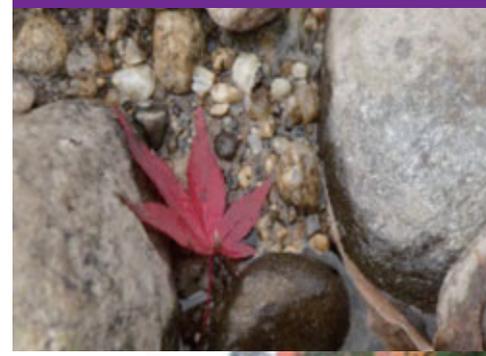
Se puede hacer un oráculo escrito (Omikujji). ¿Por qué no lo prueban después de visitar templo ?

# ASUKE



# Japón visto por estudiantes extranjeros

## Guía de Aichi -Ciudad de Asuke-



4

## Bat-Kannon (la estatua de dios budista de la Merced)

Fue levantado para invocar la seguridad del viaje y está en la entrada del pueblo. Tiene la cara del caballo en la cabeza. La carretera lida Kaidō que pasa por Asuke tenía un papel de desviación, una otra ruta alternativa de Nakasendō, en la época de Edo. Asuke reunía las mercancías procedentes de Okazaki y Nagoya y así prosperaba como punto de comercio facilitando la distribución de los productos: especialmente la sal.



Mire la cabeza!



3

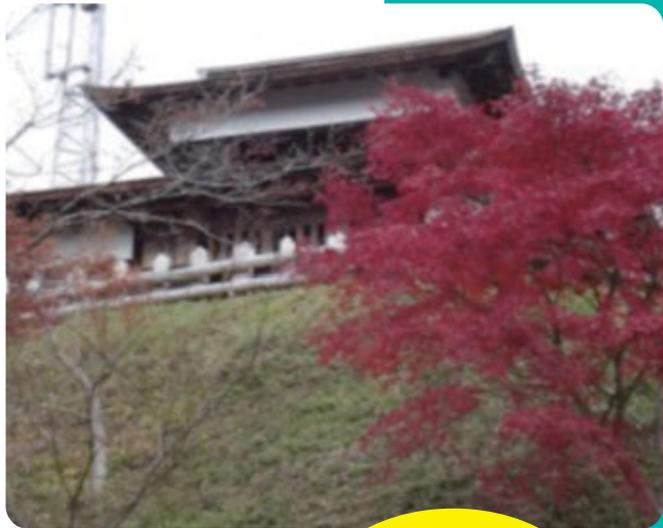
## Residencia Sansy Asuke

Se puede experimentar los juegos tradicionales de Japón, por ejemplo Takeuma, Otedama.

Dentro del local se puede probar platos de Tofu (Queso de soja) en Kumpō-tei de la residencia. No lleva carne ni pescado pero es rico.

Vamos a comer!!





7

## El castillo de Asuke

Diferente del familiar castillo de Nagoya se reproduce un castillo medieval en la montaña.

Se ve un panorama grandioso y es divertido buscar el paso oculto.

Pero, cuidense sobre la cabeza, es que el paso es oscuro y estrecho.



Atacando el gohei mochi



5

## El agua transparente de la corriente del pueblo

Se puede ir al río desde cada casa.

Además se puede apreciar el castillo en la cima de la montaña frontal.

La Primavera también es bella



6

## La hilera de casas en Asuke

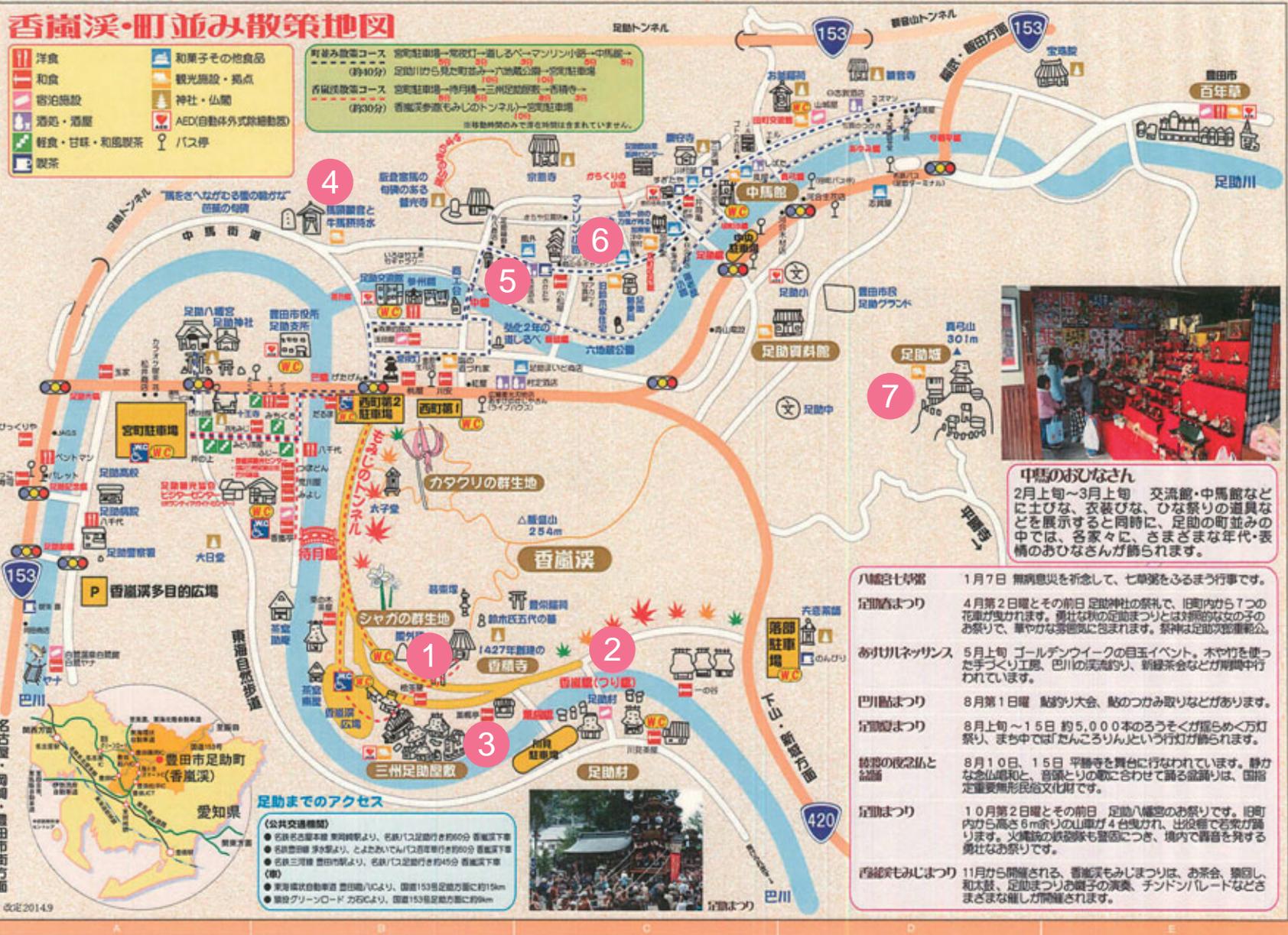
Todavía existen muchos edificios antiguos y preciosos.



# 香嵐溪・町並み散策地図

- 洋食
- 和食
- 宿泊施設
- 酒吧・酒屋
- 軽食・甘味・和風喫茶
- 喫茶
- 和菓子その他食品
- 観光施設・拠点
- 神社・仏閣
- AED(自動体外式除動器)
- バス停

**町並み散策コース** 宮町駐車場→電灯灯一並しるペーパマンリン小道→中馬館→(約40分)  
 足助川から見た町並み→六地蔵公園→宮町駐車場  
**香嵐溪散策コース** 宮町駐車場→待月橋→三州足助歴史・香嵐溪→(約30分)  
 香嵐溪歩道もみしのトンネル→宮町駐車場



旧足助宿は豊田市中南部に位置し、名古屋から長野県塩尻まで続く飯田街道(中山道の脇往還)沿いに物資運搬と庶民通行の要所として栄えた商家町です。馬の背に荷物を付けて運ぶ三州中馬騾ぎの起点となった所で、岡崎方面等からの塩荷を当地で一旦ばらして付け直すところから「足助塩」の名も生まれました。2011年に県内で初めて伝統的建造物群保存地区に指定され、整備が進められています。

## 愛知ガイド～足助編～



**中馬のおひなさん**  
 2月上旬～3月上旬 交流館・中馬館などに土ひな、衣装ひな、ひな祭りの道具などを展示すると同時に、足助の町並みの中では、各家々に、さまざまな年代・表情のおひなさんが飾られます。



- 八幡宮七草粥** 1月7日 無病息災を祈念して、七草粥をふるまう行事です。
- 足助まつり** 4月第2日曜とその前日 足助神社の祭礼で、旧町内から7つの花車が曳かれます。勇壮な秋の足助まつりと対照的な女の子のお祭り、華やかな茶会も含まれます。祭神は足助次郎重忠公。
- あけがれネッパリス** 5月上旬 ゴールデンウィークの目玉イベント。木や竹を使った手づくり工房、巴川の炭焼約り、新緑茶会などが開催中行われています。
- 巴川まつり** 8月第1日曜 鮎祭り大会、鮎のつかみ取りなどがあります。
- 足助夏まつり** 8月上旬～15日 約5,000本のろうそくが燈らめく万灯祭り、まち中では「だんごろりん」という行灯が飾られます。
- 縁起の夜会仏と結納** 8月10日、15日 平勝寺を舞台に行なわれています。静かな念仏唱和と、音頭とりの歌に合わせて踊る盆踊りは、国指定重要無形民俗文化財です。
- 足助まつり** 10月第2日曜とその前日 足助八幡宮のお祭りです。旧町内から高さ8m余りの山車4台曳かれ、出役役で若衆が踊ります。火筒の秋祭隊も盛況につき、境内で音響を発する勇壮なお祭りです。
- 西総菜もみじまつり** 11月から開催される。香嵐溪もみじまつりは、お茶会、祭直し、和太鼓、足助まつりおひなさんの演奏、チンドンパレードなどさまざまな催しが開催されます。

**足助までのアクセス**  
 (公共交通機関)  
 ● 名鉄名古屋本線 東岡崎駅より、名鉄バス足助行き約60分 香嵐溪下車  
 ● 名鉄豊田線 多水駅より、とよあいてんバス(毎年11月1日～31日)香嵐溪下車  
 ● 名鉄三河線 豊田市駅より、名鉄バス足助行き約45分 香嵐溪下車(朝)  
 ● 東海旅客自動車鉄道 豊田線(ICAより、国道153号足助方面に約15km)  
 ● 豊田グリーンロード カラスより、国道153号足助方面に約9km

